

事業番号	05 08 14	事業改善シート(25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	障がい者福祉センター運営事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・室	障がい者支援課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 2 障がい者支援の充実			実施期間	H10 ~	

1 事業の概要

目指す姿	県における障がい者のスポーツ・レクリエーション活動や文化活動の中核施設として、障がい者の健康増進と社会参加を促進する。						
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリや余暇活動でスポーツや文化芸術活動を行う障がい者は多い。 ・障がい者福祉センターから離れた地域に居住している障がい者を対象にした移動スポーツ教室等の支援ニーズが高い傾向にある。 						
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】				
	県民との協働による実施：困難		県内唯一の障がい者優先スポーツ・文化施設として、県内の障がい者スポーツ活動や文化芸術活動の指導、推進の中心的な役割を果たしている。				
事業内容	① 成果目標(H25)						
	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度以上の利用者数の増加を図る。 ・障がい者福祉センターから離れた地域の障がい者に対しても事業を展開し、県内全域におけるスポーツ活動等の啓発・支援を行う。(利用者数:146,000人、スポーツ教室等参加者数:11,468人、満足度:90%以上) 						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
	1	指定管理委託料	指定管理	・長野県障がい者福祉センターの管理運営を指定管理者((社)長野県社会福祉事業団)に委託する。	268,096	268,096	266,562
	2	指定修繕委託料	指定管理	プールろ過機器の修繕	3,239	3,239	23,755
	3	看護大プール光熱費	直接	・長野県看護大プールの光熱費の負担(サンスポーツ駒ヶ根においてのプール開放分)	1,790	1,790	1,906
4	健康福祉部指定管理者選定委員会設置	直接	・健康福祉部指定管理者選定委員会の開催(2回) ・外部委員の報償費(3名×2回) ・外部委員の費用弁償旅費(3名×2回)	107	144	0	
5	トレーニング機器更新	直接	・経年劣化したトレーニング機器の購入(エルゴメーター)	166	105	0	
	合計			273,398	273,374	292,223	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	269,886	270,096	273,398	292,223
	補正予算	12,117			
	合計(A)	282,003	270,096	273,398	292,223
	国庫支出金	412		0	
	県債				
	その他(繰入金)	11,287		3,416	2,766
	一般財源	270,304	270,096	269,982	289,457
	決算額(B)	281,698	270,096	273,374	
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10
	概算人件費(C)	826	826	826	826
	概算事業費(B(A)+C)	282,524	270,922	274,200	293,049

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
利用者数	145,856人	146,000人	143,394人	未達成	116,000人
スポーツ教室等参加者数	13,161人	11,468人	14,636人	達成	-
満足度(普通以上)	90.2%	90%以上	91.9%	達成	-

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・健常者の利用が、利用者の固定化やセンター周辺のスポーツクラブ利用により選択肢が広がったことなどから、全体の利用者数は減少したが、障がい者の利用は、前年度より増加(H24:60,847人→H25:61,450人)し、障がい者の健康増進と社会参加の推進を図ることができた。 ・地域サテライト施設の出張スポーツ教室の回数の増加により、スポーツ教室等の参加者が増加した。 ※利用者数の目標数値については、H24末(実績)数値により変更。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 県内唯一の障がい者のスポーツ・文化施設として、障がい者の健康増進と社会参加の推進を図るため、幅広い情報提供を行いながら、利用者ニーズの把握を行い、ニーズに沿った教室を開催するなど利用者の満足度の向上に努めたい。 平成26年度から、長野県社会福祉事業団と長野県障がい者スポーツ協会の「障がい者スポーツ振興グループ」が指定管理者となったことから、スポーツ指導員等の活用により手厚い支援に努めたい。
--------------------	--